

Women's Initiative for Leadership (第6期)

～成果報告会・修了式 開催結果概要～

令和3年12月
経済産業省
経済社会政策室

1. 開催概要

日時：令和3年12月10日（金）15:00～18:00

形式：対面（経済産業省）及びWEB（Microsoft Teams）でのハイブリッド

平成27年より企業横断的な勉強会「[Women's Initiative for Leadership](#)」（略称：WIL）を実施。企業における将来のリーダー候補となる女性に対し、経営者に必要な知見の習得・人的ネットワーク構築の機会を提供。

◆ 令和3年4月より、30社の参加を得て「WIL（第6期）」を実施。有識者を講師として招いた勉強会やグループ別の政策研究を実施し、その集大成として、成果報告会・修了式を開催。

2. 参加企業、受講生

◆ なでしこ銘柄、ダイバーシティ経営企業100選に選定された企業等のうち、製造業、金融業、小売業など、幅広い業種・規模の企業から、主に部長職クラス的女性が参加。

3. 成果報告会・修了式の様子

<グループ研究テーマ>

- A 働き方改革X.0 ～コロナによる変化とDX化～
- B 「新しい価値観」
～人生100年時代において、『新たな幸福観』を互いに肯定し合える事ができる社会とは？～
- C 地方創生～ダイバーシティeスポーツの普及を通じた地域活性化～
- D 地球温暖化対策 ～CO2削減～
- E 貧困の世代間連鎖を断ち切るために
「社会全体で子供を教育する」仕組みへの転換



◆ 全体講評概要

- ・各グループとも有識者へのヒアリングなどを複数実施し、多方面からのインプットを積極的に実施するなどし、現実的でレベルの高い提言を策定いただいた。
- ・チームの誰もが高いレベルで質疑応答ができる状態であり、素晴らしい。

まとめ	貧困の連鎖を断ち切るための子供の教育の提案
スコープ	・ 所得格差による学習格差を縮小させ、 ・ 将来の社会的・経済的自立を可能にする教育を提供する
主要ターゲット	相対的貧困状態にある家庭の子供（年収122万円以下、247万人）
具体的な政策	① 小中学生を対象とする無料補習塾～現代版寺子屋の設置 ② 小学校からのキャリア教育の整理・充実化 ③ 高等学校専科（職業学科）・高等専門学校への支援充実 ④ デジタルを活用した支援プラットフォーム整備 ～行政と貧困家庭が相互にアクセスできる仕組みづくり ⑤ 幼少期の非認知能力の育成～3歳からの幼児教育の義務化
改正が必要な法律	社会教育法、教育基本法、学校教育法、児童福祉法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等
まとめ	貧困の世代間連鎖をなくすために「子供の教育」に関する上記5つの政策をグループEとして提案します。

◆ 来賓

- ・大崎 麻子氏（NPO法人 Gender Action Platform 理事、関西学院大学総合政策学部客員教授）
- ・正木 義久氏（日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション 本部長）
- ・大沢 真知子氏（日本女子大学 名誉教授、日本女子大学現代女性キャリア研究所 前 所長）
- ・望月 晴文氏（東京中小企業投資育成(株) 社長）

Eグループが最優秀提言賞を受賞